

令和2年度の目玉研究等 八戸工業研究所

◆溶接現場用技術向上システムの開発

【背景】

- ・溶接加工は主に製造業などの産業分野で広く必要とされる技術であり、溶接士の技量は品質を大きく左右する重要な要素です。そのため、溶接技術力を高めることは品質や生産性の向上につながります。
- ・一方で、青森県では労働力人口が減少傾向にあり、それに伴い技術力のある溶接士も減少が予想されます。
- ・そのため、溶接士の技術力向上が重要になっていますが、それには相当な期間と人的コストを要するという課題があります。

【目的】

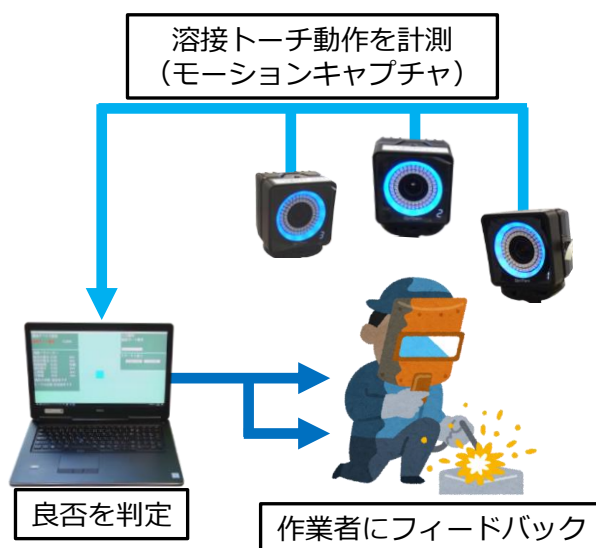
- ・H30に作製した下向姿勢用の溶接トーチ動作矯正システムを改良する形で、溶接現場において使用可能な技術向上システムの開発を行います。

【R2目標】

- ・システムを立向、横向姿勢に対応させるため、溶接トーチの動作データを収集します。また、データを解析し、技量に関するパラメータを抽出します。
- ・下向姿勢を対象に、現場での使用を想定した測定精度の検証および治具の試作を行い、可搬型溶接トーチ動作矯正システムを作製します。

【今後】

- ・県内企業の受注拡大と生産性向上に貢献するべく、溶接士の技術レベル向上を支援します。



システム概略図

お問い合わせ

八戸工業研究所 機械システム部 (電話0178-21-2100)